

# さくら教室だより

令和5年5月17日  
東久留米市立第九小学校  
校長 山本 真美枝  
特別支援教室 担任



## 指導が始まり1か月経ちました



さくら教室の指導が始まり、1か月が経ちました。子どもたちは、新しい先生や友達との関わりの中で、学習を頑張っています。5月は寒暖差が激しい季節なので、体調を崩しやすくなります。自分の体調をしっかり管理する力や、適切な衣服の着脱なども指導していければと思います。ご家庭でもご指導をしていただきたく思います。

### <連絡帳について>

4月 8日(月) 名前	
今日の学習	さくらより
さくらタイム	今日は、2人ずつのチームになり、人間すごろくをやりました。二人の役割を決めたり、分かれ道はどちらに行くかなど相談したり、活動中に友だちと話し合う機会を設けました。
☆個別指導	チームで協力するということ、友達と相談して二人の意見の折り合いをつけるということを学習の場を通して学びました。
☆担任の先生から	
保護者から	

上段は、集団指導の様子を書いてあります。

下段は、個別指導の様子について書いてあります。担当の教員がその日の授業内容について書きます。**集団指導がない場合は、連絡帳には個別の様子しか書いてありません。**

基本的に、個別指導があった日の放課後に、連絡帳をさくら教室の教員から担任に渡します。担任が、学級の様子などを書き加え、児童に渡すので、**保護者の皆様は、一読の上、【ご家庭から】の欄にご家庭の様子を書きいれていただければ幸いです。**お忙しいときは、サインでもかまいません。

連絡帳は青ファイルに閉じて、お渡しします。また、学習で使ったプリントも併せて閉じてお返ししますので、学習で使ったプリントはご家庭でお持ちください。連絡帳は、お子様に持たせて、学級の担任に渡すよう伝えてください。可能であれば、**学級担任もご家庭からのメッセージをしっかり読めますので、指導の前日までには学校にお戻しください。**

### 【今月のお知らせ】

来月から、さくら教室の個人面談が始まります。そこで、個人面談のご都合をお伺いする手紙を配布する予定です。紙が配布されましたらご都合のよい時間に〇をつけていただき、ご提出ください。面談の始まりは6月27日(火)からを予定しています。

# 【さくら教室のちょこっとコラム】

～こんな道具ありますよ編～



## ①忘れ物チェッカー

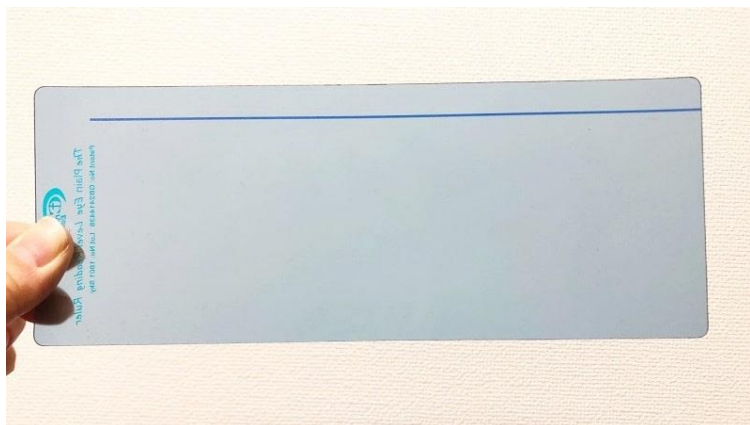
【忘れ物が多い子におすすめ】

忘れ物が多い子にこんな持ち物をおすすめしてはいかがですか？忘れ物チェッカーといいます。

単純にルーティンでやることをいくつか書いて、やったことを○に変えていくだけの道具です。ランドセルにつけたり、連絡袋に入れたりして、目につきやすいところに置いておくと効果的です。

子どもだけでなく、大人も「鍵」や「財布」を持ったのかチェックするのにも使えますよ

## ②リーディングルーラー



【読むのが苦手な子におすすめ】

音読や読むことが苦手な子が、文書にこの定規を当てて読むと、読み飛ばしなどが減り、読むことへのストレスが軽減されます。

教科書や本は地の紙の色は基本的に白です。そのため、白い地が光を反射し、その結果、目が疲れやすくなったり、脳が形の認識を誤りやすくなったりします。

そのような光の反射を抑え、さらに読む場所を示すラインがあることで読むことへの負担を大幅に削減するのが、この定規なのです。

## ③様々なアプリ、タブレット

GIGAスクール構想が始まり、東久留米市でも一人一台端末が実現しました。ご家庭で、スマートフォン、タブレット、AIなどが生活の中で必需品になっていると思います。

ICT機器は特別支援と非常に相性がいいです。時計やお金の勉強をするアプリや、感情の表現やコミュニケーションを補助するためのアプリ、視覚的な支援が必要な児童に対し、音や時間、予定などを見える化するアプリなど、実に多様なニーズに応えたアプリの開発が進んでいます。さらに色覚障害者が、色を判別しやすくするためのカメラアプリなどもあります。今後もICTの動きに注目ですね。